

⑦ 地元政策
大学病院並みの医療体制を!!

2027年に鶴川駅北口ターミナルと南北自由通路、橋上駅の完成、南口ターミナル運用開始、2024年鶴川1号踏切拡幅完了、駅周辺渋滞解消と急行停車駅へ。

小田急線小山田への延伸と小山田駅の早期実現、魅力ある北部丘陵構想、1000万人が訪れる北部丘陵里山自然公園を。

町田市には救命救急(大学)病院が1つありません。脳や心臓など搬送される初動30分、40分が命取りです。

都議選や衆議院選、町田市長選や市議選でも一貫して立憲民主党として政策を訴えましたが、町田市には救命救急病院や大学病院が1つもなく高度医療ができません。近隣の八王子市には大学病院が2つ、相模原市には北里病院、川崎市には聖マリアンナ病院、多摩市にも日本医科大学があります。脳や心臓などの急患は初動の30分40分が命取りです。救急車を呼んでも受け入れ先がなく長時間動かないこともあります。コロナ禍でも他県の病院に断られることがありました。町田市民43万人の命や健康を守る医療体制の充実を引き続き求めてまいります。

- ④ 南町田をはじめとして待機児童ゼロ。
- ⑤ 相原地区における交通空白地域の解消、八王子医療センターへのバス交通の実現、相原駅前横浜線アンダーパスの実現で渋滞緩和。
- ⑥ 団地問題(家賃、バリアフリー、EV設置、空室、建替、商店街活性化)、低所得者向け住宅の拡充。鶴川団地の建て替え事業。
- ⑦ 教育や給食費無償化、家賃、奨学金から妊活、出産、子育て、保育、教育など若者支援と少子化対策。
- ⑧ 児童相談所早期設置実現。バリアフリー、ホームドア設置早期実現。
- ⑨ 中心市街地活性化と地域経済雇用支援。まちづくりの中でドッグランの設置を。



黙っていても変わらない!

しゅんすけが目指す「この国のかたち」

- ① **経済再生。税制改正。消費税5%へ減税**
失われた35年「利権・既得権・金権・裏金・派閥・企業団体献金」中心の古い政治との決別。公平でも平等でもない税制を見直し人への投資と分配を重視で経済の好循環を。企業団体献金・政治資金パーティ・政策活動費の禁止等を実施。世代間格差是正。
- ② **働く現場の声が通る政治**
派遣労働から直接雇用へ。望まない非正規雇用を無くす。介護士・保育士・福祉従事者等の待遇改善。最低賃金1500円(月額約24万円)に引上げ。残業代未払い取り締まり強化。1億円の壁の解消、消費減税。インボイス廃止。給付付き税額控除。DX促進。
- ③ **教育・子育て・社保制度の充実**
教育・給食費無償化。児童手当所得制限撤廃し第1子から増額し高3まで月15,000円支給。国立大学の授業料無償化と私立大学や専門も同額程度負担軽減。不妊治療や出産費用補助拡大。育児休業賃金100%支給。奨学金減免・給付型拡充と住宅費補助。ヤングケアラー支援。年金制度改革。ベーシックインカム導入検討。給付付き税額控除。孤独孤立対策。
- ④ **原発に依存しない日本へ**
2030年再エネ50%LNG火力50%省エネ30%以上でCO₂排出60%削減目標。再エネ政策の確立と促進。新たな産業等も強化し次世代に繋ぐ。気候変動対策。
- ⑤ **多様性を認める社会へ**
障がい者、高齢者、LGBTQ、夫婦別姓、同性婚など多様性認め差別のない社会を。障がい者の親なき後も安心できるグループホームの充実を。動物愛護。
- ⑥ **専守防衛を貫く**
安全保障環境や技術、戦術等も大きく変化する中でリスクやファクトに基づき、立憲主義と専守防衛を堅持しながら現実的な対応を。日米地位協定の見直し。

ぜひ国会見学にお越しください



伊藤俊輔事務所では、いつでも国会見学を受付しています。個人でも知人友人やご家族と、また自治会や町内会、老人会など団体でも様々なプランのご相談がいただけます。国会見学に加えて皇居や迎賓館、また浅草など観光を組み合わせたことも可能です。(例:見学のみ無料。40人前後の団体であればバスを貸し切りお昼込で6,000円前後)

皆様のお困りごと、ご意見ご要望を是非お聞かせください。
FAX:03-3508-3640 衆議院議員伊藤しゅんすけ事務所 宛
 メールの場合は officeshunsuke2012@gmail.com もしくは **お問合せフォーム**から▲

ご意見ご要望をお書きください

ご氏名: _____ TEL: _____ FAX: _____

ご住所: _____ MAIL: _____

FAX送信シート

伊藤しゅんすけ

衆議院議員
東京都第23選挙区
町田市
 黙っていても変わらない
町田生まれ 町田育ち



SNS・ホームページで最新情報発信中!

i-shunsuke.com
 @shun76450

LINE 公式アカウント

一生懸命配信しています!

フォロー・登録をお願いします!

経歴
 1979年8月5日 町田市生まれ 町田市在住/富士幼稚園卒園/桐蔭学園小・中・高・大 卒業/北京大学 留学/中央大学経済学部 卒業/会社経営 元役員/第46回・第47回衆議院議員選挙 次点/第48回衆議院議員選挙 76,450票 初当選/第49回衆議院議員選挙 126,732票2期目当選

主な役職
 党副幹事長/党青年局長/都連選対委員長/議院運営委員会/情報監視審査会/日中友好議連/障がい・難病政策推進議連/UR住宅議連/小田急多摩線延伸促進議連顧問/タクシー政策議連/新体操連盟副会長/長野県人会連合会顧問/拉致議連/連合政策フォーラム議員

政権交代。日本を新しい時代へ

株価史上最高値、大企業の決算も好調、賃上げムードだが、実質賃金、実質所得は30年上からず、実質賃金は26か月連続マイナス、非正規雇用も約4割、自殺者は約2万人、食料自給率は約38%、エネルギー自給率約11%、教育費は先進国最低レベル、国民負担は約50%近く、人に投資せず積みあがった内部留保は約500兆円、年間に生まれる子どもの数は73万人を割り込み、少子化は加速し、出生率は1.20です。

まず、円安・物価高対策が最優先課題です。そして、目の前の奨学金返済や家賃など負担の大きい部分に目を向けた若者支援から妊活・出産・子育て・保育・教育と繋がった少子化対策へ、手元にお金が残る経済政策で経済の好循環をつくります。

自民党の長期政権で、先送りしてきたもの、利権・既得権・金権・裏金・派閥など中心で、コストカットと自己責任を強いる古い政治から、今こそ、人と地域と環境にやさしい政治へ転換し、賃上げ、安定雇用、経済の好循環へ、不安を解消していきたいと思ひます。

9月には、総裁選と立憲民主党代表選があります。岸田政権支持率約19.1%、政権交代を期待する約50%という世論調査もあるなかで、政権交代で日本の未来を変えられるよう、努力して参ります。





キックバックではじまり、ブラックボックスで終わった裏金国会

国会議員も責任を求められる連座制についても先送りされました。シンプルに「不透明な政治資金支出はやめる」これが求められています。

裏金国会では、新たに、安倍派会計責任者が法廷で「幹部会合で還流再開決定」と証言し、事実ならば、政治倫理審査会で説明した、西村議員、塩谷議員、下村議員、世耕議員等、安倍派幹部は、全員、嘘をついていたこととなります。国会では、時間が経てば、国民は忘れるとの声が聞こえてきますが、憤りと怒りしかありません。

今国会は、能登半島沖地震の対応ではじまり、立憲民主党は議員立法を25本提出しました。最終盤、野党が結束して内閣不信任案を提出も否決となり、裏金問題の解明も説明も処分も不十分で、抜け道だらけの政治資金規正法改正となり、会期延長もなく、裏金国会は閉会しました。立憲民主党は、すでに企業団体献金を禁止しておりますが、与党案では全く触れず、二階元幹事長が5年間で50億円を受け取っていた政策活動費も廃止少なくとも用途公開を求めましたが、10年後に黒塗りを含む領収書公開を“検討”に留まり、事実上、全く改善にはならず、むしろ悪いことが法的に肯定されてしまった感もあります。立憲民主党は、企業団体から個人献金にシフトしていくため、個人献金の控除額を増やすこととセットで政治資金パーティ禁止を提案しましたが、パーティ券購入者の公開基準を20万超から5万超に引き下げただけで、これからも政治資金パーティは継続、旧文通費の用途公開や会計責任者のみならず



特定秘密の漏えい 情報監視審査会で厳しく警告

防衛省における特定秘密の漏えい事案に対して、衆議院の情報監視審査会は、衆議院議長を通じて防衛大臣へ情報保全体制の改善を、去年の海自幹部が特定秘密が含まれる情報をOBに漏えいした事案に続き、2回目の厳しい警告となりました。

今回は、安全保障に関する秘匿性の高い「特定秘密」の漏えいをめぐっては、陸海空3つの自衛隊などで資格のない隊員らが「特定秘密」に接していたことが分かり、113人が処分対象となっています。

根本的な原因及び再発防止、実効性のある抜本的な運用改善による信頼回復を厳しく求めました。

情報監視審査会は、特定秘密等を扱う為、非常に厳



格に、情報漏えいを防ぐために保護措置を講じた上で、調査や審査をしますが、非公開ですのでどんな案件を扱うか審査会の内容等が表に出ることはありません。

その上で、国民の知る権利に資する観点から、特定秘密や不開示情報などは記載できませんが、毎年1回、真剣に審査会での調査及び審査の経過及び結果を記載した年次報告書を作成し、議長に提出されます。

今回は特に、防衛省において再び特定秘密漏えい事案が生じたことに対して強く問題視し、原因や対応のあり方、具体的な再発防止などを求め、重要経済安保情報については、特定秘密同様に国会側、情報監視審査会で監視する必要性や、サイバー攻撃に対する各行政機関の探知能力及び対処能力のあり方など様々な事柄について審査し、年次報告書を提出しました。

私も、立憲民主党から代表して情報監視審査会の幹事として、引き続き大事な職責を果たして参ります。

基金の見直し行財政改革を 防衛費ロンダリングの指摘も

現在、国の基金は約200あります。調査室調べでは、約17兆円のうち、7兆4164億円の国庫返納が可能との試算もあるが、政府の国庫返納可能額は、僅か5466億円とし、ほぼ返納する気はない。例えば、グリーンイノベーション基金は、2兆2309億円あり、令和3年度で41億円、令和4年度は652億円、合計693億円しか使ってない。結果的に、差し引いた2兆1616億円は国庫返納可能です。

もう1つ例をあげれば、中小企業

等事業再構築促進基金は、1兆9861億円あり、政府は元々令和5年から10年間で必要な基金は、2兆9024億といていたので、年間2000億必要で、今後3年間で約6000億なので差し引き1兆3584億円は国庫返納可能です。

なぜ使われない数兆円もお金が、その都度ではなく基金で積み残すのか。一旦基金に積み、決算剰余金という名に変えて、国民に説明なく使い勝手のいいものとして、防衛費に使われているなど

防衛費ロンダリングといわれる事例も指摘されています。安易な増税ではなく、行財政改革でまだまだ財源の捻出は可能です。

